

関係各位

2023年10月期第1四半期 連結決算の概要

2023年3月9日
株式会社トップカルチャー

(1) 総括

当社グループの2022年10月期第1四半期連結決算（2021年11月1日～2022年1月31日）は、以下の通りです。

- ・売上高は、53 億 96 百万円（前年同期 60 億 19 百万円）
- ・営業利益は、39 百万円（前年同期 1 億 53 百万円）
- ・経常利益は、21 百万円（前年同期 1 億 49 百万円）
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は、11 百万円（前年同期 1 億 26 百万円）

(2) 連結業績の要素別分析

売上高

企画販売イベントや年末年始の福袋等の季節商品の売上が伸長、衣料やコスメも売上が牽引し、食品やコスメは前年比約 130%と好調に推移しました。Book&Café スタイルについても、コロナ禍の中 5 類への移行に向けようやく収束の兆しがみえてきたことで、お客様が戻りつつあります。

2022 年 11 月 25 日に蔦屋書店長野川中島店店内に「DAISO 長野南バイパス店」をオープンし、順調に売上が伸びております。

また、前期 6 月よりトップカルチャーで展開するゲーム・リサイクル事業を、子会社トップブックスのゲーム・リサイクル事業（ふるいち）へ順次切り替えを進めており（2023 年 1 月 31 日時点で 13 店舗切り替え完了）、グループ全体の同事業における売上也伸長しましたが、全体の売上高は前年水準に至りませんでした。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

エネルギーコストの高騰による光熱費の増加から販管費の負担が増しており、利益面に大きな影響を与えました。

(3) 今後の展望（中期経営計画の最終年）

中期経営計画に掲げました方針に従い、成長事業への事業転換、付加価値の高い既存事業の強化を推進してまいります。3月中旬には「DAISO」の第2号店が蔦屋書店伊勢崎平和町店にオープンを予定しており、子会社トップブックスのふるいちへの切り替えも2月に2店舗切り替え完了、3月に3店舗切り替え完了を予定しております。

以 上

本文書に関するお問い合わせ先：株式会社トップカルチャー 取締役財務部長兼管理部長 遠海 武則
〒950-2022 新潟市西区小針4-9-1 電話 025-232-0008